



「続く」を支える。

**ヤマタネ**

**2023年3月期 第2四半期**

# **決算説明資料**

**2022年11月28日**

**株式会社ヤマタネ**

(証券コード：9305)



|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. 2023年3月期第2四半期 決算概要 | P2  |
| 2. 2023年3月期 決算見通し     | P14 |
| 3. 中期経営計画の進捗状況        | P20 |
| 4. サステナビリティの取組み       | P24 |
| 5. 参考資料               | P27 |



# 1. 2023年3月期第2四半期 決算概要

- (1) 連結決算概要
- (2) セグメント別決算概要
- (3) 連結キャッシュフロー
- (4) 連結財政状況

# 1. (1) 連結決算概要

昨年8月に開業したKABUTO ONEと本年4月に100%連結子会社となった(株)シンヨウ・ロジが業績に大きく寄与した結果、前年同期比で**増収増益**

(単位:百万円)

|                      | 22/3期 上期<br>実績 | 23/3期 上期 |        | 前期比   |       | 計画比   |        |
|----------------------|----------------|----------|--------|-------|-------|-------|--------|
|                      |                | 計画       | 実績     |       | 増減率   |       | 増減率    |
| 売上高                  | 23,271         | 25,800   | 25,440 | 2,169 | 9.3%  | ▲ 359 | ▲ 1.4% |
| 営業利益                 | 1,348          | 1,400    | 1,900  | 552   | 41.0% | 500   | 35.7%  |
| 営業利益率                | 5.8%           | 5.4%     | 7.5%   | —     | —     | —     | —      |
| 経常利益                 | 1,187          | 1,290    | 1,861  | 674   | 56.8% | 571   | 44.3%  |
| EBITDA               | 2,413          | 3,047    | 3,584  | 1,171 | 48.5% | 537   | 17.6%  |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 694            | 670      | 1,078  | 383   | 55.3% | 408   | 60.9%  |

# 1. (2) セグメント別決算概要



## 物流セグメント

### ポイント

#### 【増収増益】

- ・ 4月に100%連結子会社となった (株) シンヨウ・ロジが収益に大きく寄与
- ・ 国内での貨物の荷動きが回復
- ・ 海外引越とフォワーディングの取扱いが回復し、運賃高騰とともに売上増加に寄与

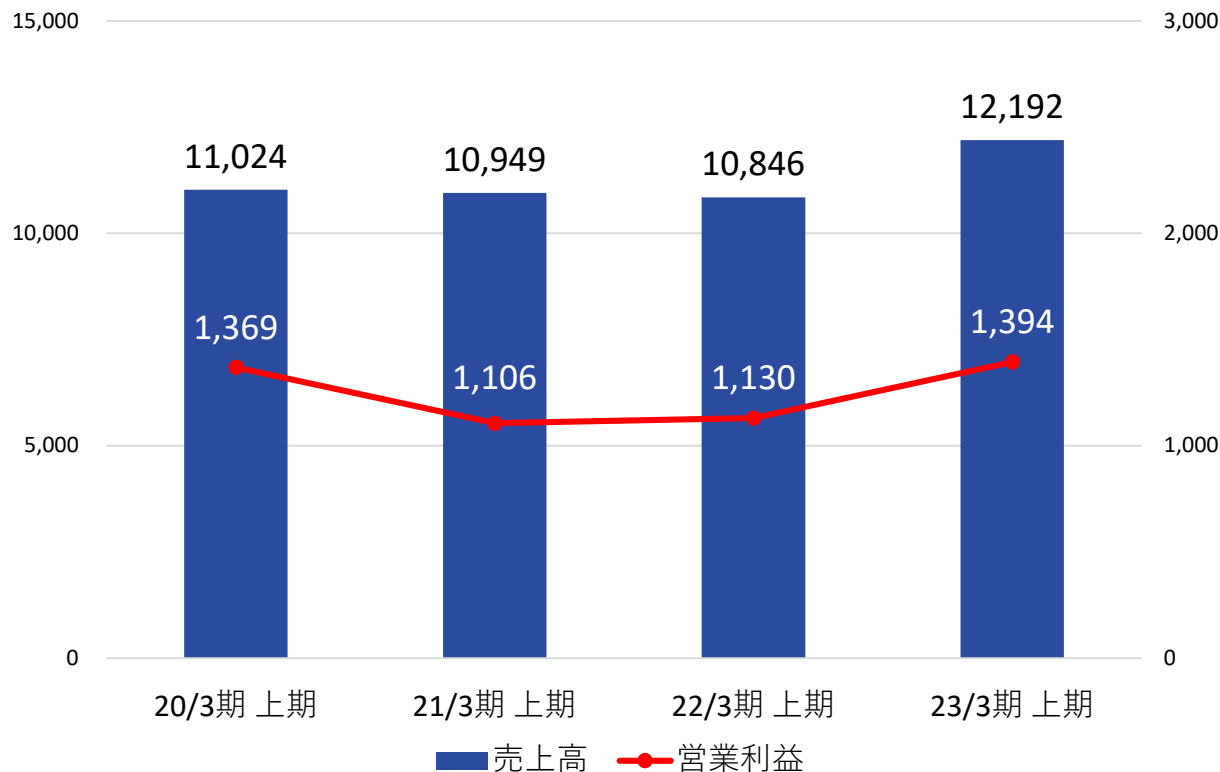
## 1. (2) セグメント別決算概要



### 物流セグメント

売上高  
(百万円)

営業利益  
(百万円)



売上高

**12,192** 百万円

前年同期比 (増減)

**1,346** 百万円  
(+12.4%)

営業利益

**1,394** 百万円

前年同期比 (増減)

**264** 百万円  
(+23.4%)

## 1. (2) セグメント別決算概要

 食品セグメント

## ポイント

## 【増収減益】

- ・ 外食需要の回復と量販店向け販売が堅調に推移し、精米販売が増加（前年同期比18.5%増）
- ・ 玄米も令和3年産の需要増と令和2年産の計画的販売により販売量増加（前年同期比9.3%増）
- ・ 印西精米センターに生産拠点を集約し、生産効率は向上。一方、減価償却費負担は増加

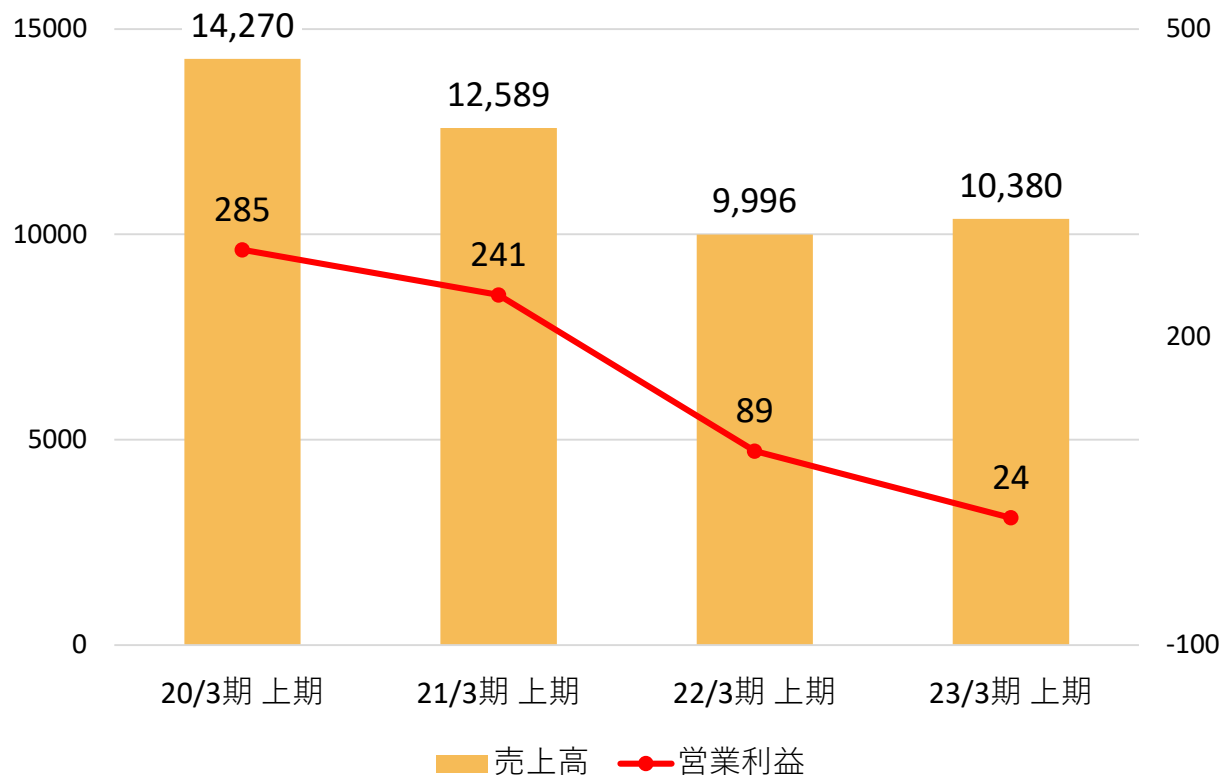
# 1. (2) セグメント別決算概要



## 食品セグメント

売上高  
(百万円)

営業利益  
(百万円)



売上高

**10,380** 百万円

前年同期比 (増減)

**383** 百万円  
(+3.8%)

営業利益

**24** 百万円

前年同期比 (増減)

**▲64** 百万円  
(▲72.9%)



## 1. (2) セグメント別決算概要



## 情報セグメント

## ポイント

## 【増収増益】

- ・ 顧客先駐在のシステム基盤構築や保守運用案件の拡大と新規獲得
- ・ グループ内でのシステム投資費用の減少

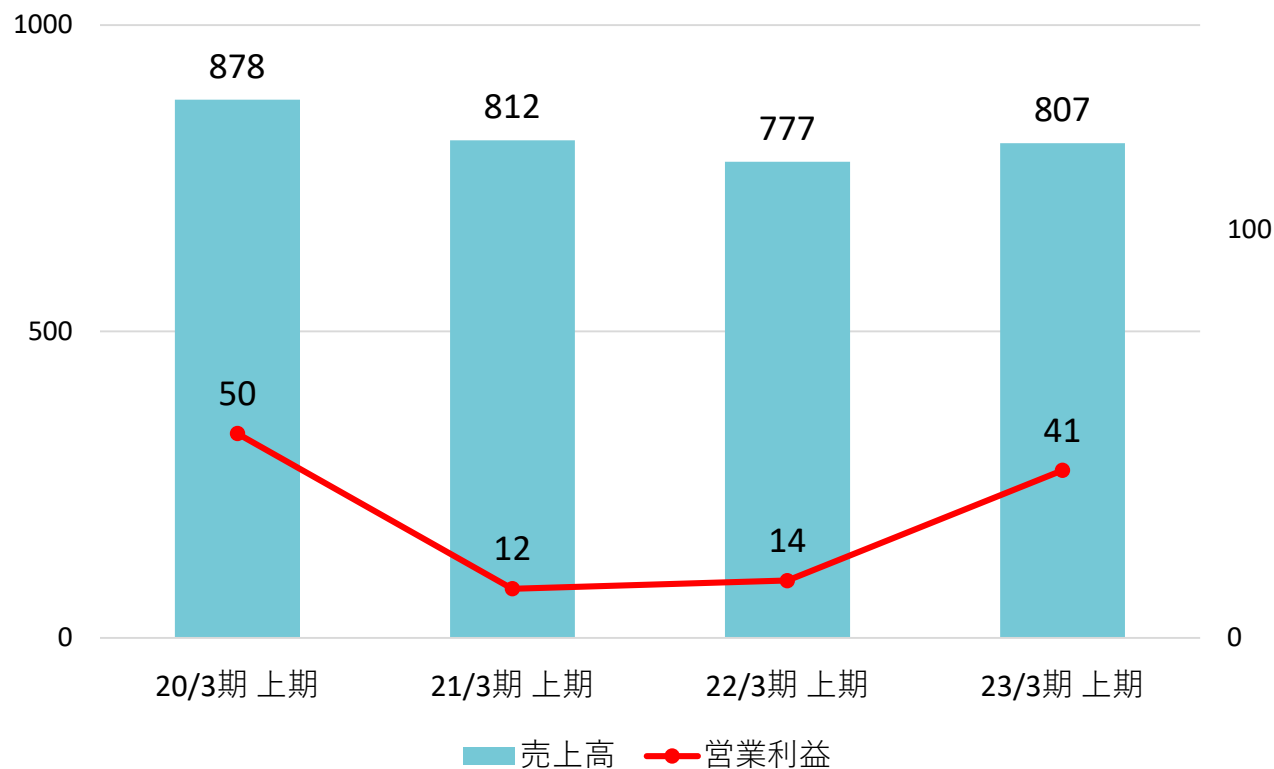
## 1. (2) セグメント別決算概要



### 情報セグメント

売上高  
(百万円)

営業利益  
(百万円)



売上高

**807** 百万円

前年同期比 (増減)

**29** 百万円  
(+3.8%)

営業利益

**41** 百万円

前年同期比 (増減)

**27** 百万円  
(+199.5%)

## 1. (2) セグメント別決算概要

 不動産セグメント

## ポイント

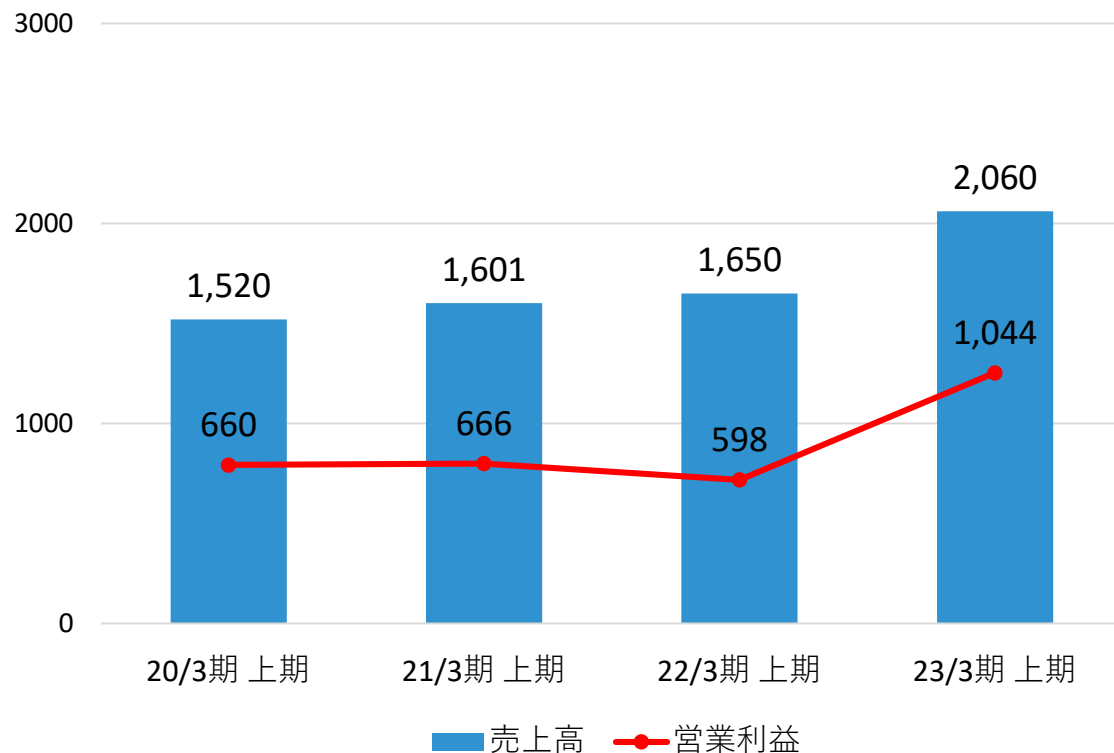
## 【増収増益】

- ・ 昨年8月に開業したKABUTO ONEの収益の寄与
- ・ 前期計上したKABUTO ONEの不動産取得税がなくなったこともあり前年同期比で費用減少

## 1. (2) セグメント別決算概要

### 不動産セグメント

売上高  
(百万円)



売上高

**2,060** 百万円

前年同期比 (増減)

**409** 百万円  
(+24.8%)

営業利益

**1,044** 百万円

前年同期比 (増減)

**445** 百万円  
(+74.4%)

# 1. (3) 連結キャッシュフロー

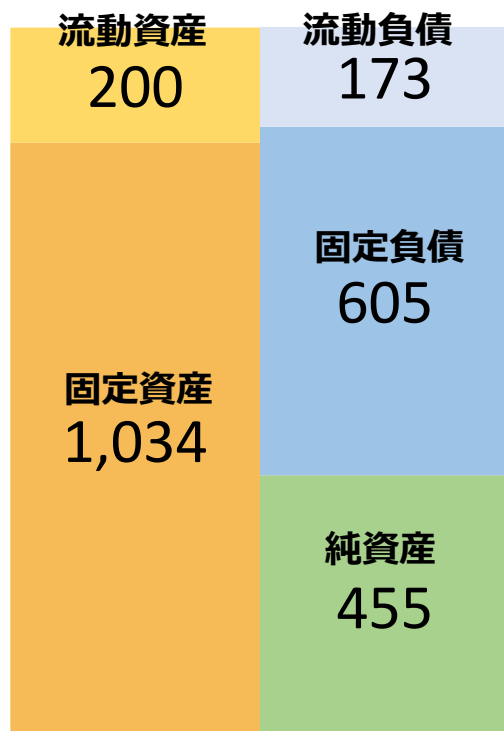
税金等調整前四半期純利益等で40億90百万の収入  
設備投資やM & A、有利子負債返済等の支出で、現金及び現金同等物の  
残高は、前期末比 2 億55百万円減少

|       | 22/3期 上期 | 23/3期 上期 | 増減      |
|-------|----------|----------|---------|
| 期首残高  | 16,529   | 7,459    | ▲ 9,069 |
| 営業C/F | 2,069    | 4,090    | 2,020   |
| 投資C/F | ▲ 5,956  | ▲ 2,112  | 3,844   |
| 財務C/F | 413      | ▲ 2,233  | ▲ 2,646 |
| 期末残高  | 13,055   | 7,204    | ▲ 5,851 |
| 増減額   | ▲ 3,474  | ▲ 255    | 3,218   |

# 1. (4) 連結財政状況

シンヨウ・ロジ子会社化によるのれんの発生はあったものの  
有形固定資産の減少等により前期末比 4 億81百万円の資産の減少  
有利子負債の減少等により同17億64百万円の負債の減少  
親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により同12億82百万円純資産が増加

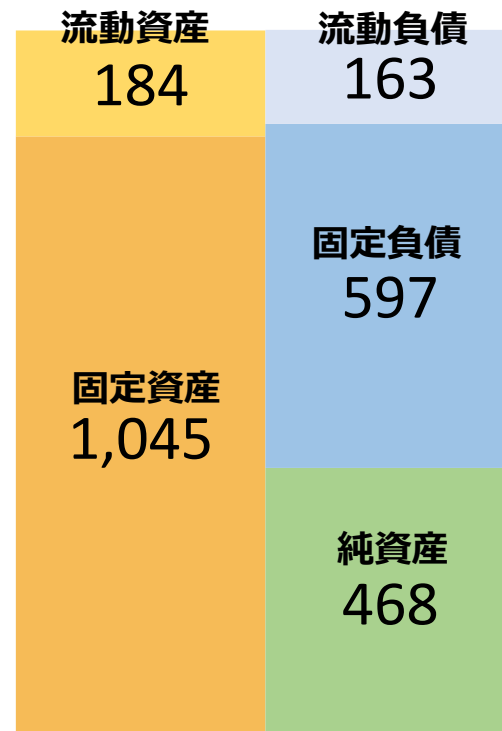
## 2022年3月末



資産合計  
1,234億円  
負債合計  
778億円

(億円)

## 2022年9月末



資産合計  
1,229億円  
負債合計  
761億円

(億円)

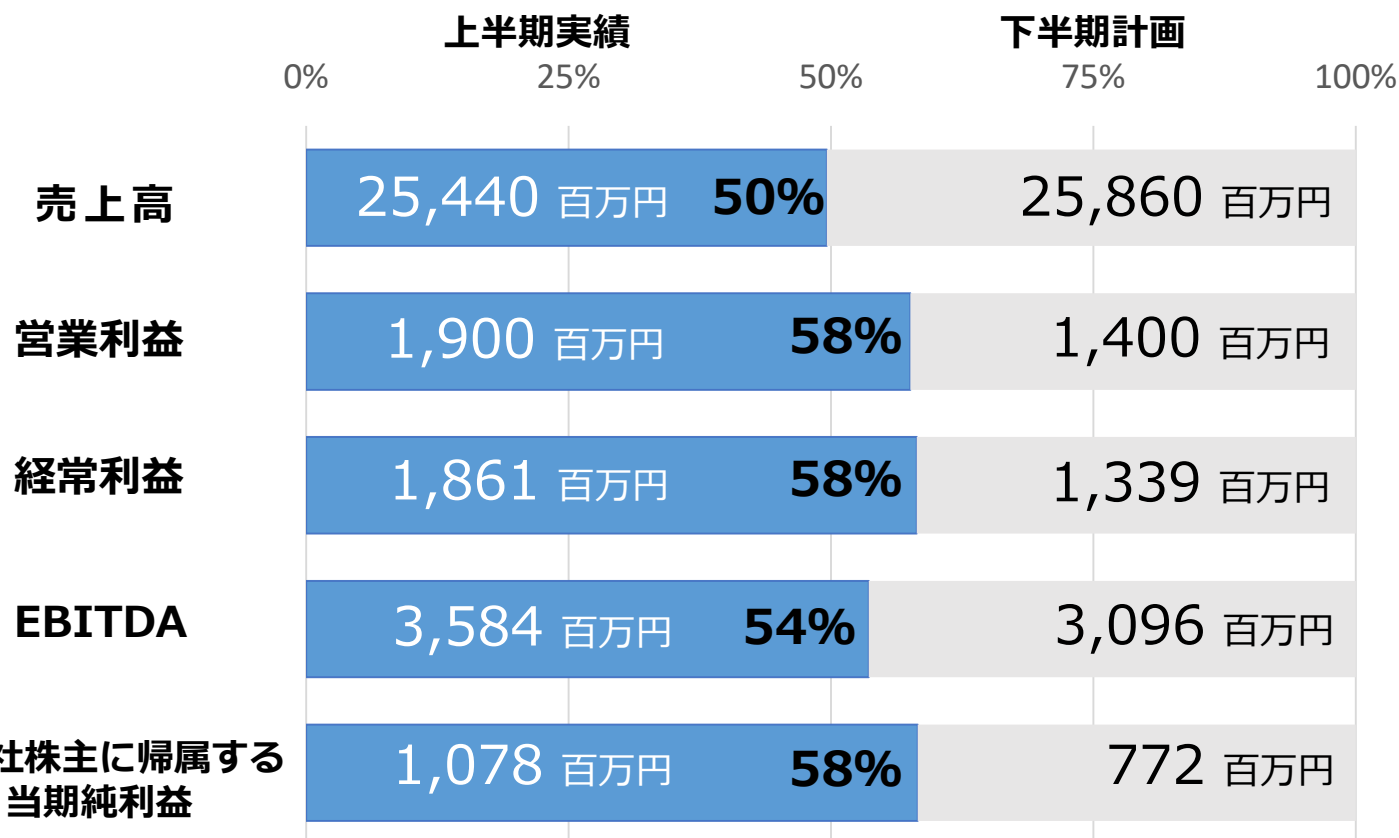


## 2. 2023年3月期 決算見通し

- (1) 連結決算見通し
- (2) セグメント別決算見通し

## 2. (1) 連結決算見通し

下半期も売上は引き続き堅調に推移する見込みだが、物価上昇の影響などで費用増加を想定し営業利益は上半期より減少を見込む



### 2023年3月期予想

**51,300 百万円**  
(前期比+4,535百万円)

**3,300 百万円**  
(前期比+298百万円)

**3,200 百万円**  
(前期比+545百万円)

**6,680 百万円**  
(前期比+1,363百万円)

**1,850 百万円**  
(前期比+18百万円)

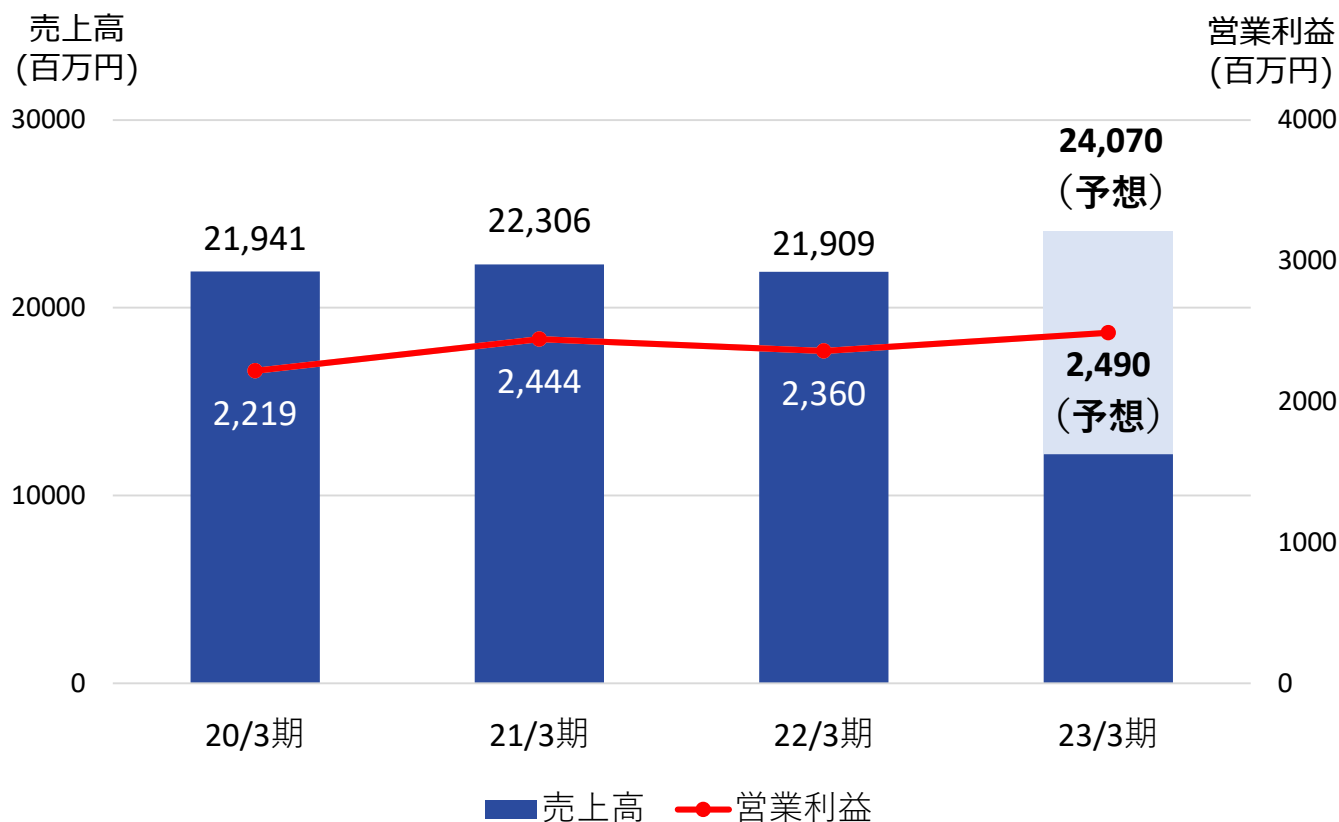
通期連結業績予想につきましては、物流部門において物価上昇等による今後の作業コストや修繕コスト等の増加を見込み、当第2四半期連結累計期間の実績等も踏まえて業績予想を修正いたしました



## 2. (2) セグメント別決算見通し



### 物流セグメント



売上高 (予想)

**24,070** 百万円

前年同期比 (増減)

**2,160** 百万円  
(+9.9%)

営業利益 (予想)

**2,490** 百万円

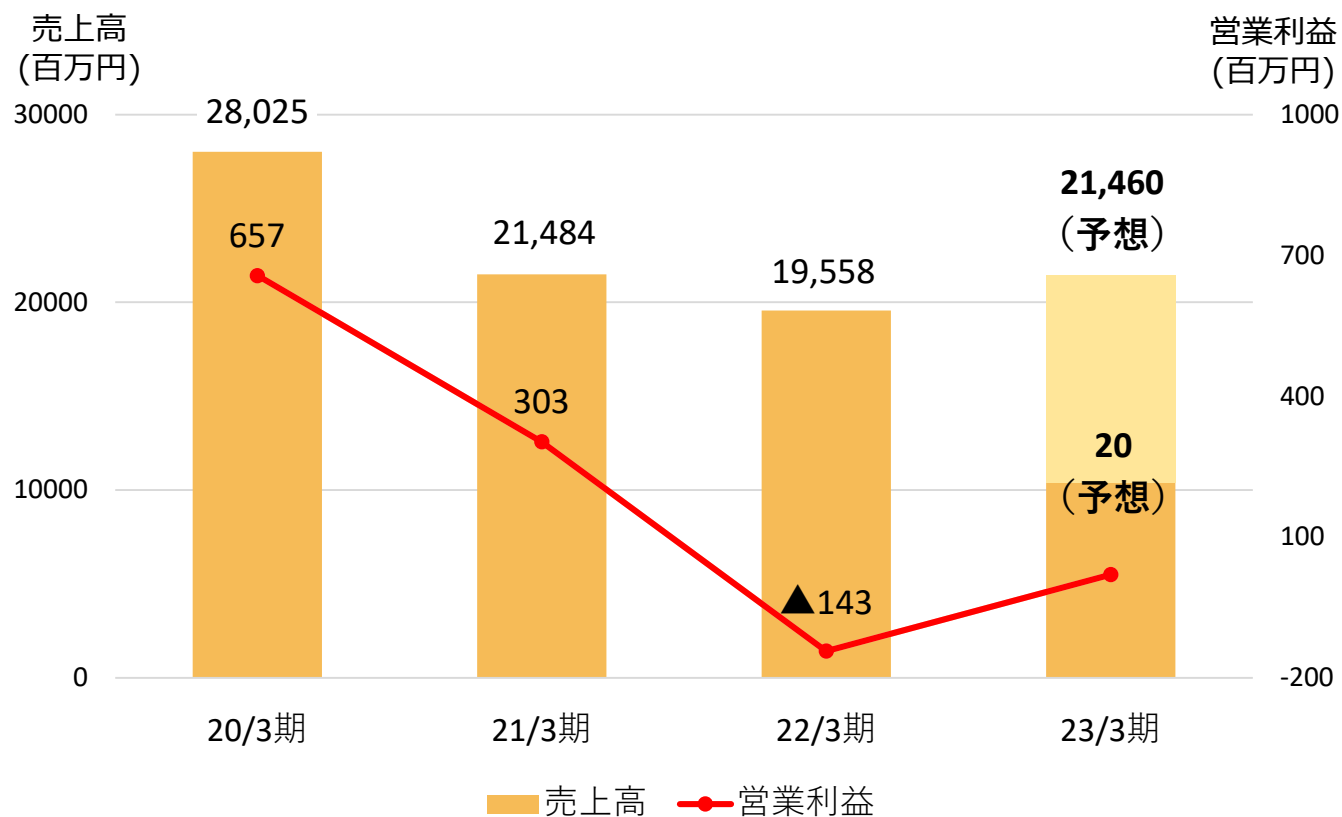
前年同期比 (増減)

**129** 百万円  
(+5.5%)

## 2. (2) セグメント別決算見通し



### 食品セグメント



#### 売上高 (予想)

**21,460** 百万円

前年同期比 (増減)

**1,901** 百万円  
(+9.7%)

#### 営業利益 (予想)

**20** 百万円

前年同期比 (増減)

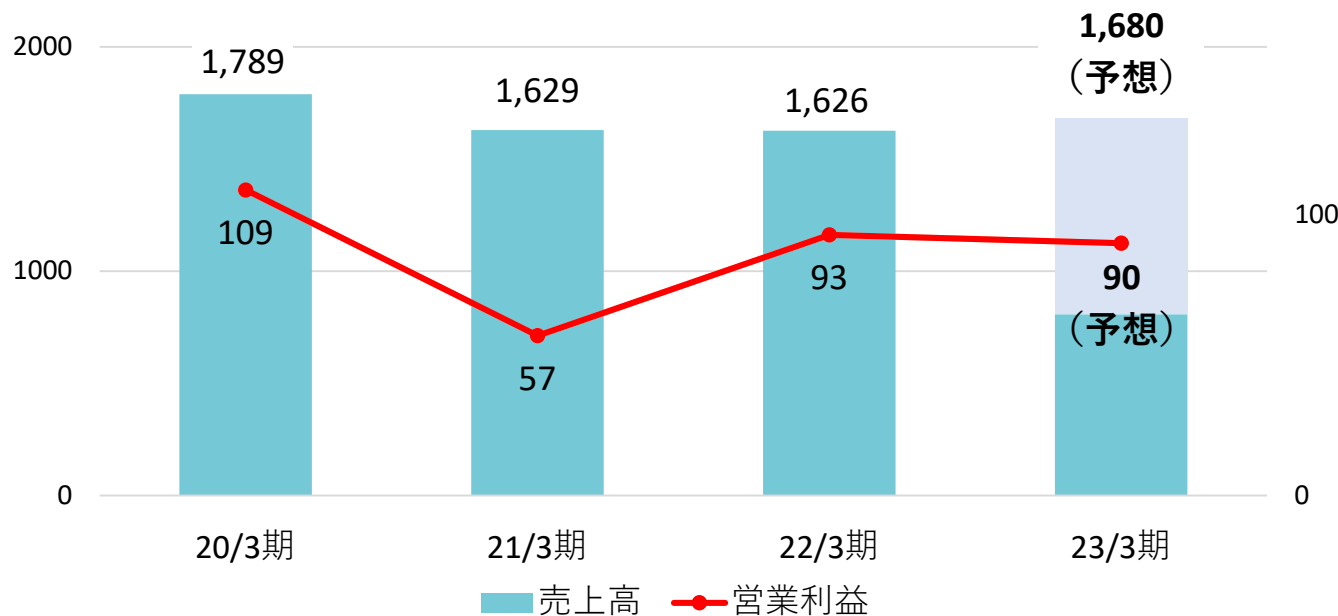
**163** 百万円  
(前年同期143百万円損失)

## 2. (2) セグメント別決算見通し



### 情報セグメント

売上高  
(百万円)



営業利益  
(百万円)

売上高 (予想)

**1,680** 百万円

前年同期比 (増減)

**53** 百万円  
(+3.3%)

営業利益 (予想)

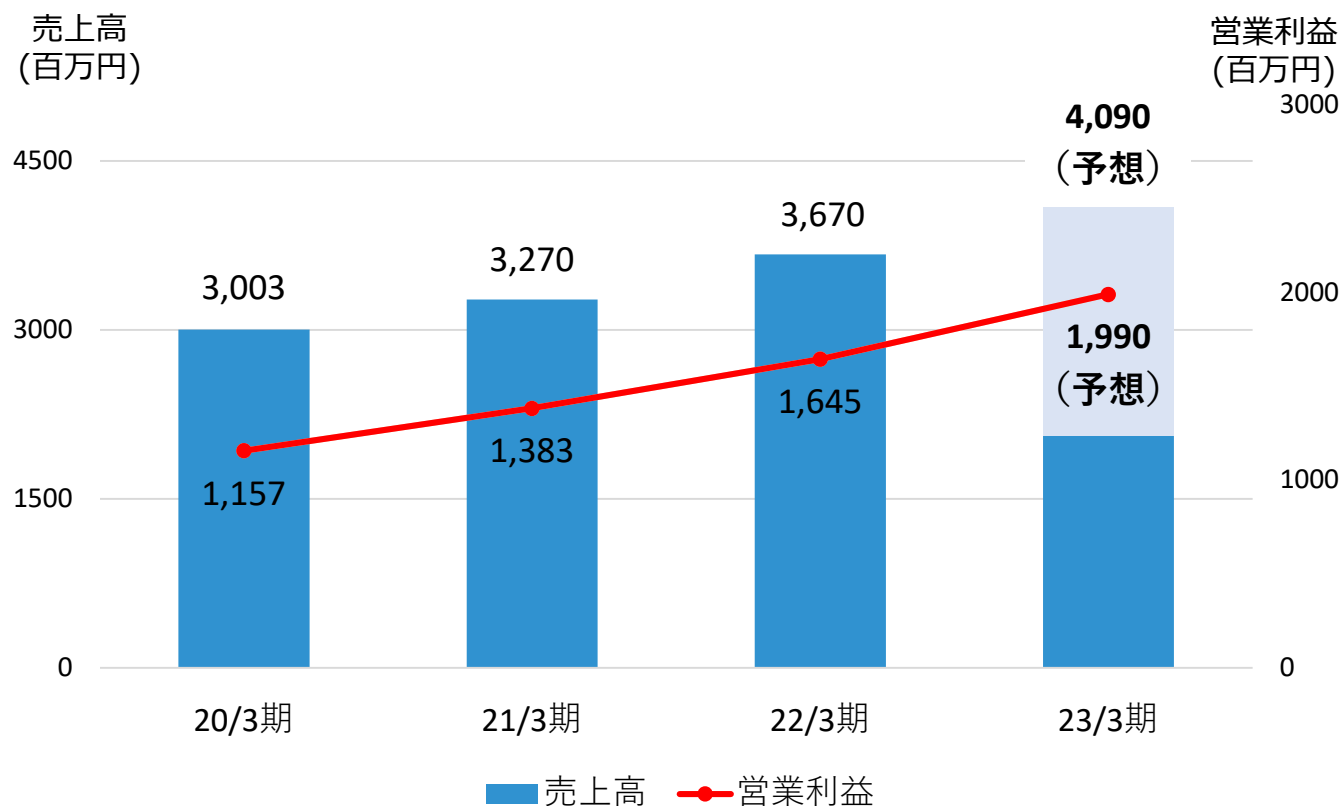
**90** 百万円

前年同期比 (増減)

**▲3** 百万円  
(▲4.0%)

## 2. (2) セグメント別決算見通し

### 不動産セグメント



売上高 (予想)

**4,090** 百万円

前年同期比 (増減)

**419** 百万円  
(+11.4%)

営業利益 (予想)

**1,990** 百万円

前年同期比 (増減)

**344** 百万円  
(+20.9%)



### 3. 中期経営計画の進捗状況

- (1) 中期経営計画 ヤマタネ2025プラン
- (2) 中期経営計画進捗状況
- (3) 部門別目標の取組み事例

## 3. (1) 中期経営計画 ヤマタネ2025プラン

### ヤマタネ2025プラン

#### 創業100周年に向けて、豊かな社会づくりにチャレンジしていく

#### 方針

- 1 「チャレンジ領域」と「コア事業領域」に分け、経営資源を適切に配分し規模を最適化する
- 2 環境に配慮した事業活動を推進し、社会に安心と安全、効率性を提供する
- 3 これまで築いてきた資本（財務、製造、知的、人的、社会関係、自然）を基盤に、長期的な展望に基づいた事業展開を行う

#### 目標値

##### 財務目標

ROE **5%以上**

配当性向 **35%以上**

売上高 **565億円**

営業利益 **32億円**

EBITDA **66億円**

#### 部門別目標

#### チャレンジ領域

##### 物流部門

- 新たな事業領域への進出のため、食品量販店センター運営等に取り組む

##### 食品部門

- 気候変動リスクや消費者ニーズの変化を踏まえ、新たな品種や商品の開発に着手する

##### 情報部門

- 棚卸機器レンタルのノウハウが詰まったスマホ用棚卸アプリを提供し、幅広い顧客の棚卸ニーズに応える

##### 不動産部門

- 倉庫業併営を活かして物流不動産等の仲介ビジネスを強化する

##### 管理部門

- 本社が所在する越中島地区の再開発の方向性をまとめる

#### コア事業領域

##### 物流部門

- 荷主やサプライチェーン上の各プレイヤーと連携・協働し、物流の効率化や高度化を目指す
- 収益力向上のため、新倉庫の開設や既存倉庫のリプレースを行う

##### 食品部門

- 米流通の各段階において品質と安全性を保ち、安心できる商品を消費者に対して安定的に供給する
- 生産・流通コストの低減を追求し、産地との結びつきを強化する

##### 情報部門

- DXに必要な技術を提供するパートナーとして、幅広い高度なITスキルを有する技術者を育成して顧客に供給する

##### 不動産部門

- 所有物件の品質（安全性・利便性・快適性・環境性）を高め、不動産価値を向上させる
- 不動産管理をクラウドデータベースによって効率化し、プロパティマネジメント領域のビジネスを拡大する

##### 管理部門

- 教育・研修などの人的資本への投資を拡充するとともに、専門能力や経験を有する高齢者雇用や女性管理職の登用を推進し、多様な人財基盤を構築する
- 取締役会がリスクと機会の実態を把握・監督できるようにガバナンス体制を強化する

### 3. (2) 中期経営計画進捗状況

営業利益とEBITDAについては中期経営計画の財務目標を今期達成の見込み

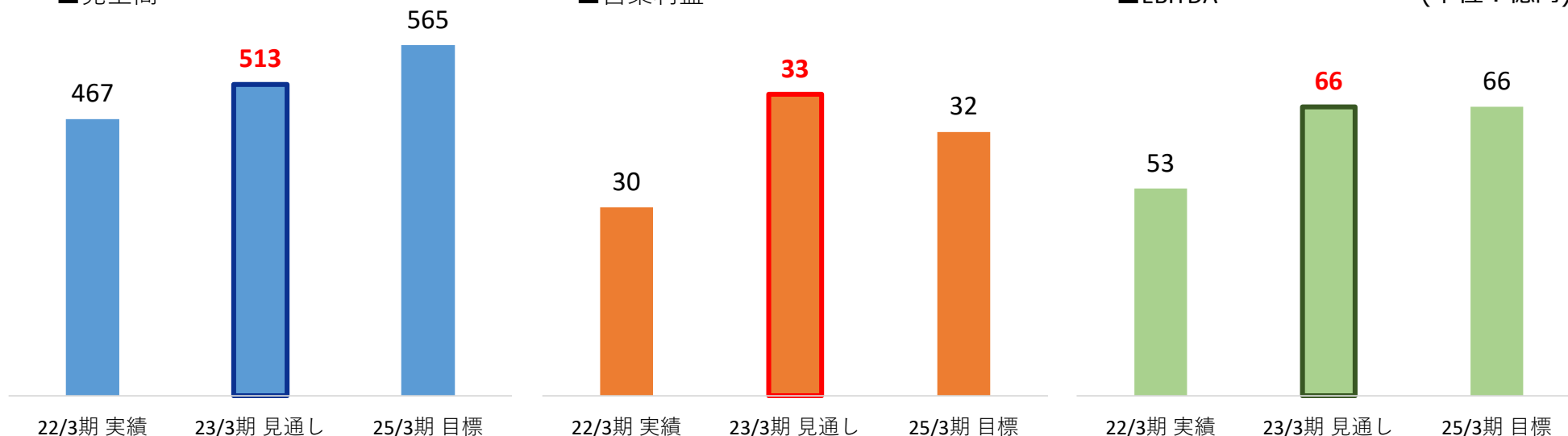
|        | 22/3期 実績 | 23/3期 見通し | 中期経営計画目標<br>(25/3期) |
|--------|----------|-----------|---------------------|
| 売上高    | 467      | 513       | 565                 |
| 営業利益   | 30       | 33        | 32                  |
| EBITDA | 53       | 66        | 66                  |

■売上高

■営業利益

■EBITDA

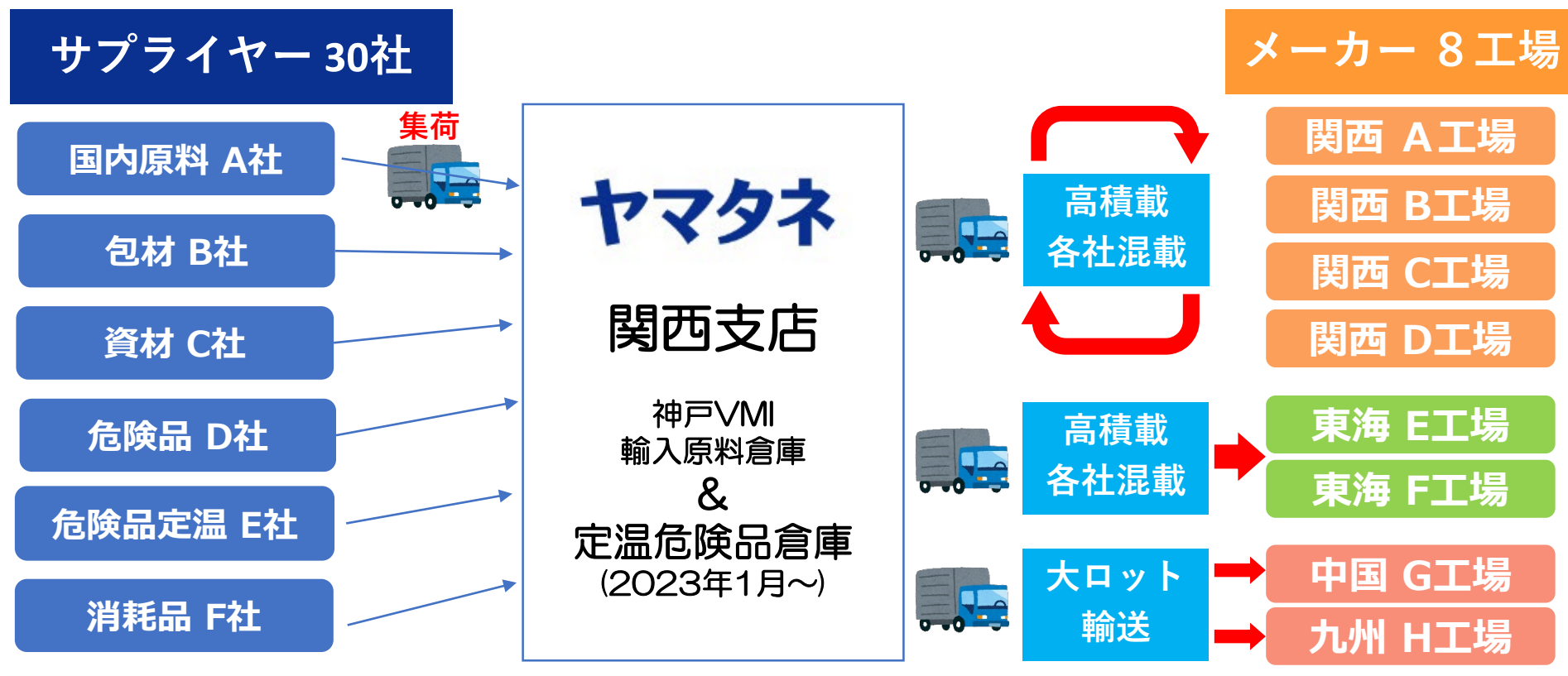
(単位：億円)



### 3. (3) 部門別目標の取組み事例

- ✓ **JIT調達(メーカー)と計画的補充(サプライヤー)に貢献**
- ✓ **車両台数・荷受回数削減によるGHG排出量削減と物流負荷軽減を実現**

大ロット輸送 × 高積載率配送 + ハンドリング数減







## 4. サステナビリティの取組み

- (1) 2030年サステナビリティ目標
- (2) 取組み事例

## 4. (1) 2030年サステナビリティ目標

### ○環境に配慮した事業活動の推進

- ・温室効果ガス排出量削減
- ・エネルギー使用量の削減
- ・廃棄物及び有害物質の管理

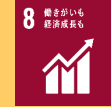
2030年目標  
☐ GHG排出量削減 2013年度対比  
 ▲50%以上



### ○製品・サービスの品質向上

- ・安心、安全な商品・サービスの提供
- ・安全衛生の推進
- ・個人情報保護及び高度なデータセキュリティ
- ・リスクマネジメント

2030年目標  
☐ 重篤な労働災害事故(※1) 0件  
☐ ISO9001認証取得 全拠点  
 (営業倉庫/精米工場)  
☐ 個人情報漏洩事故 0件



### ○人財の多様性と活躍の促進

- ・生産性向上による働き方改革
- ・人財育成及び教育
- ・女性活躍を含む多様な人財の活躍推進
- ・差別防止及び社会的弱者への配慮

2030年目標  
☐ 有給休暇取得率 80%以上  
☐ 女性管理職比率(※2) 20%以上  
☐ キャリア採用者の活躍促進



### ○地域コミュニティ及び生産地と農業の発展

- ・コミュニティへの参画及び発展への寄与

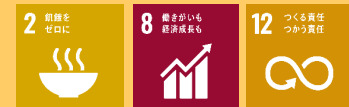
2030年目標  
☐ 地域社会の文化活動への貢献  
☐ 大規模災害発生時の官民連携を推進  
☐ 産地・行政・取引企業との  
 コンソーシアム構築



### ○持続可能なコメ調達の推進

- ・持続可能な材料調達と効率的な使用

2030年目標  
☐ 産地のブランド化による  
 持続的営農の実現



### ○コーポレート・ガバナンスの深化

- ・経営の健全性の確保、効率化の追求、  
 透明性の向上、再現性の堅持
- ・リスクマネジメント
- ・適正な情報開示

2030年目標  
☐ 取締役会によるリスクと機会の把握  
 と適切な対処  
☐ 重大なコンプライアンス違反 0件



※1 重篤な労働災害事故

① 死亡、長期療養を要する（または可能性のある）疾病、障がいの残る（または可能性のある）怪我、特定伝染病② 一時に3人以上の労働者が業務上死傷または罹病した災害（不不休む）

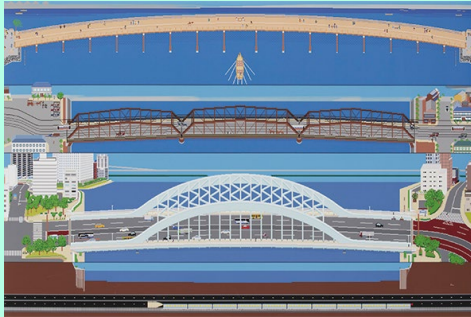
※2 対象範囲：株式会社ヤマタネ

## 4. (2) 取り組み事例

### ■ 地域社会の文化活動への貢献



当社は、重点テーマに掲げる「地域コミュニティ及び生産地と農業の発展」への取り組みにおける「地域社会の文化活動への貢献」の一環として、多くの地域イベントに協賛しております。



「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」では、フェスティバルパートナーとして協賛するとともに、作品の保管場所を提供しました。また、2022年度「ヤマタネ賞」として渡部一喜氏の『永代橋、深川と共に』を選出させていただきました。



新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの開催となった「第40回江東区民まつり 中央まつり」に出店協賛し、『お米のすくい取り』を実施しました。こどもから大人まで、およそ700名の来場者に当社ブースへお越しいただきました。



本社ビルに隣接する深川スポーツセンターで開催された「深川っ子運動会」にはおよそ500名の地域住民の皆様が参加し、レースや玉入れなどの催しが行われ、当社は景品としてお米を提供しました。



## 5. 参考資料

# トピックス

## ■ (株) シンヨウ・ロジの全株式取得 (子会社化) (2022年1月21日公表)

当社は、2022 年 4 月 1 日に株式会社シンヨウ・ロジの発行済全株式を取得いたしました。  
 当社グループは物流、食品、情報、不動産の 4 つの事業を展開しており、物流事業における国内業務については、倉庫を中心とした常温保管・配送・流通加工等を主業としております。  
 また、食品事業はコメ卸売業者として、食品量販店や外食事業者へ販売を行っております。  
 株式会社シンヨウ・ロジは、生鮮食品をはじめとした食品全般の日配および食品量販店のセンター運営等を主業とし、トランスファーセンター（T C）型の冷凍冷蔵保管や冷凍冷蔵配送にノウハウを有しております。今後、当社の物流事業および食品事業との事業シナジーを創出してまいります。



| (株)シンヨウ・ロジの概要 |                                                                                   |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称           | 株式会社シンヨウ・ロジ                                                                       |
| 所 在 地         | 千葉県千葉市美浜区高浜2丁目1番地15号                                                              |
| 事 業 内 容       | 生鮮・食品などを扱い荷とした一般貨物運送事業<br>および倉庫事業 他                                               |
| 資 本 金         | 20百万円                                                                             |
| 設 立 年 月 日     | 1972年6月                                                                           |
| ホ-ムペ-ジ URL    | <a href="https://shinyo-logi.net/index.php">https://shinyo-logi.net/index.php</a> |

**会社名** 株式会社ヤマタネ

**創業** 大正13年7月（1924年） 2024年で創業100周年

**所在地** 東京都江東区越中島一丁目2番21号

**資本金** 105億55百万円

**上場市場** 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：9305）

**代表者**  
 代表取締役社長 山崎 元裕  
 代表取締役副社長 角田 達也  
 代表取締役副社長 鈴木 康道

**従業員数** 連結：927名（2022年9月末現在）

**事業内容**

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| ・物流関連  | 倉庫業・港湾運送業・通関業・貨物利用運送業           |
| ・食品関連  | 主要食糧卸売販売業                       |
| ・情報関連  | 情報機器のソフトウェアの設計、開発、販売及び情報処理サービス業 |
| ・不動産関連 | 不動産の売買、仲介、賃貸および管理               |

**関係会社** 連結子会社： 6社（2022年9月現在）



## 物流セグメント

調達から生産・販売・静脈物流に至るまで、  
お客様の企業活動を支える物流プラットフォームを提供

### ■セグメント別売上高（2022/3）



## 食品セグメント

日本の食文化を支えながら生産地と協働し、  
地域農業の維持・発展に努める



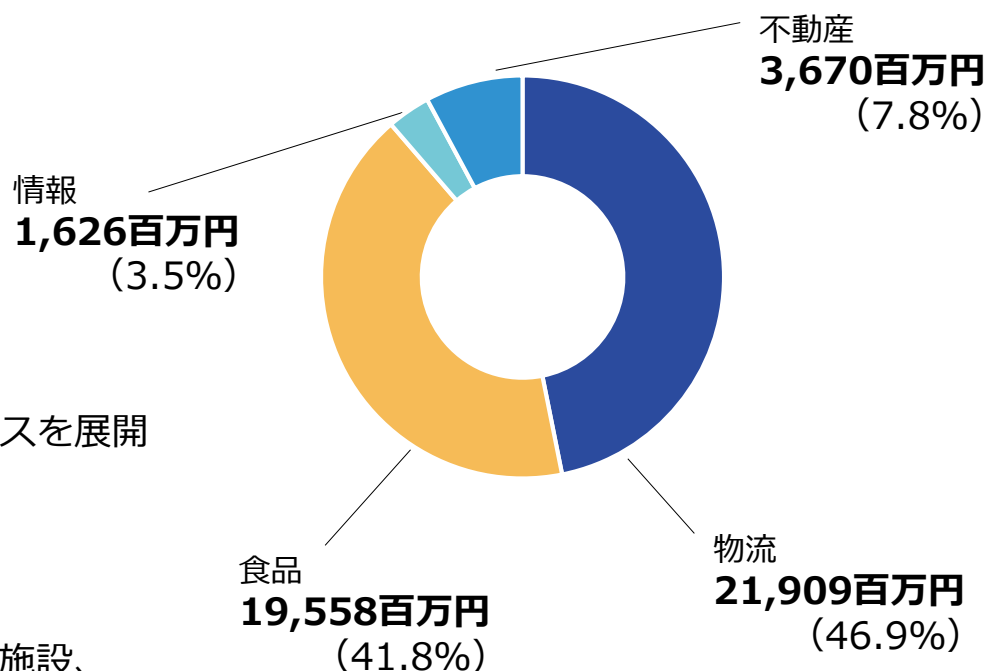
## 情報セグメント

幅広い分野でITソリューションと運用サポートサービスを展開



## 不動産セグメント

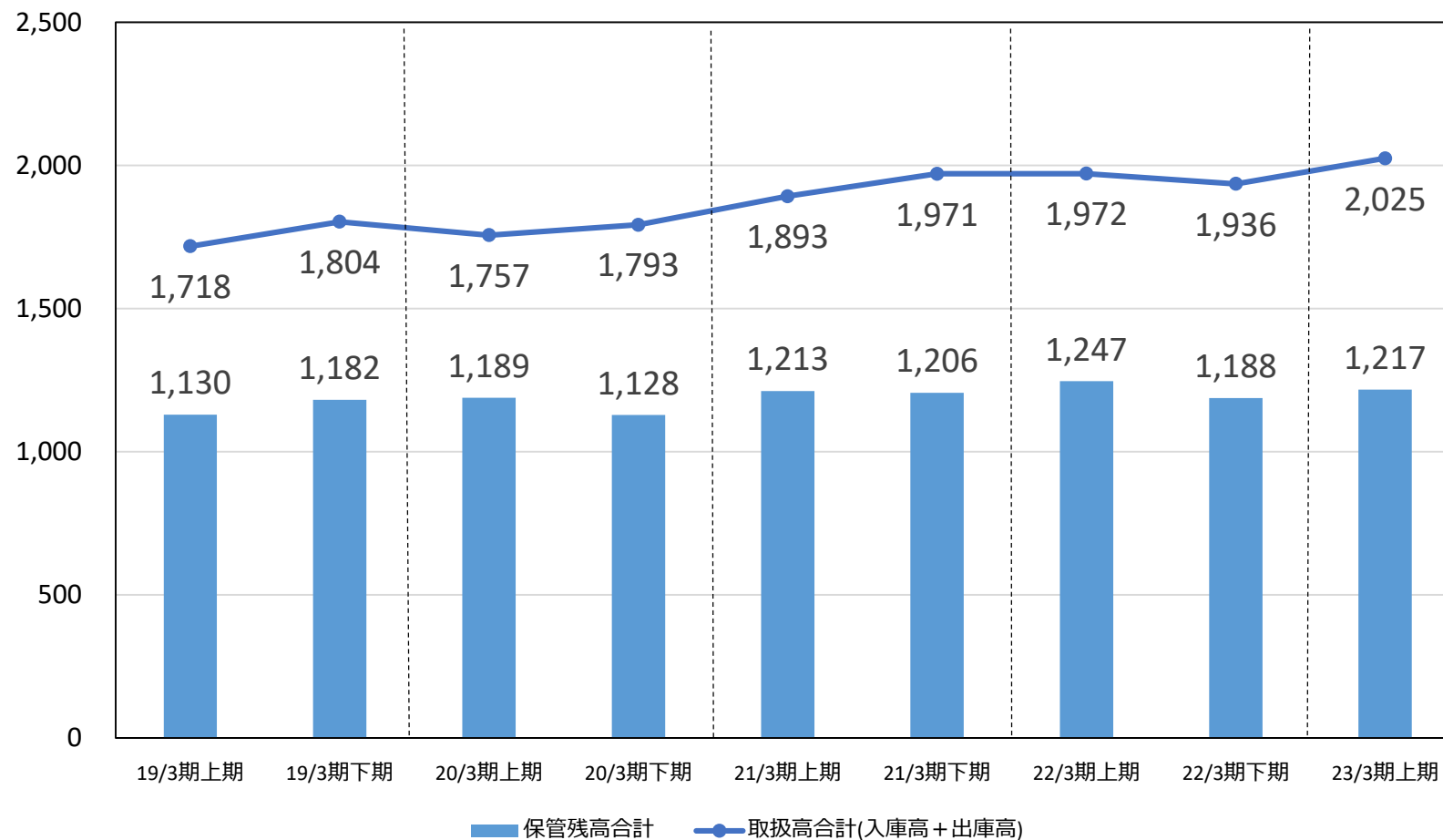
保有するオフィスビル賃貸に重点を置き、物流・商業施設、  
駐車場等の効率的な運営を実施  
プロパティマネジメント、不動産の売買・仲介等も展開





## 【物流】 保管残高合計/取扱高合計

(単位:千トン)

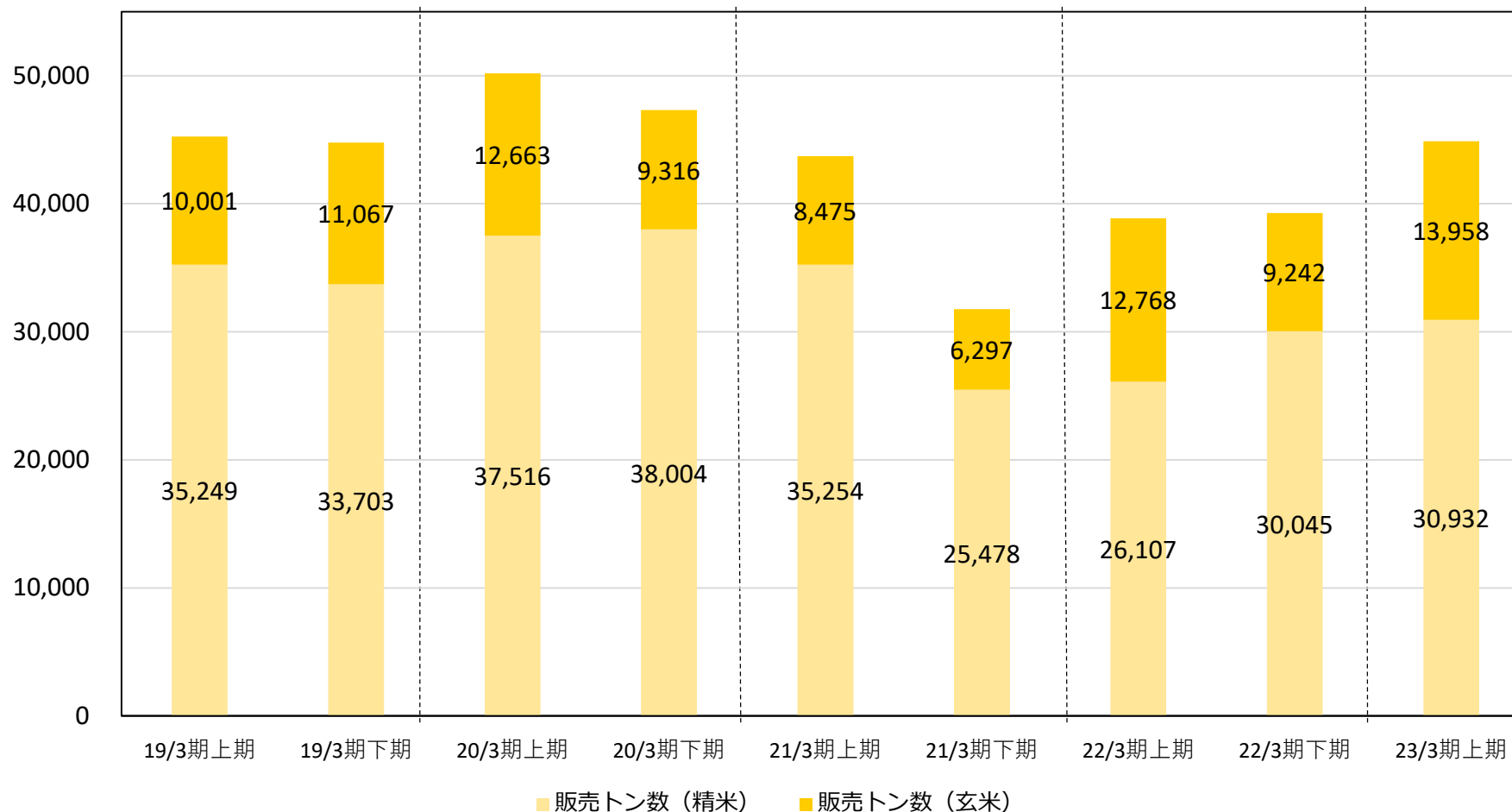






## 【食品】 販売数量(精米/玄米)

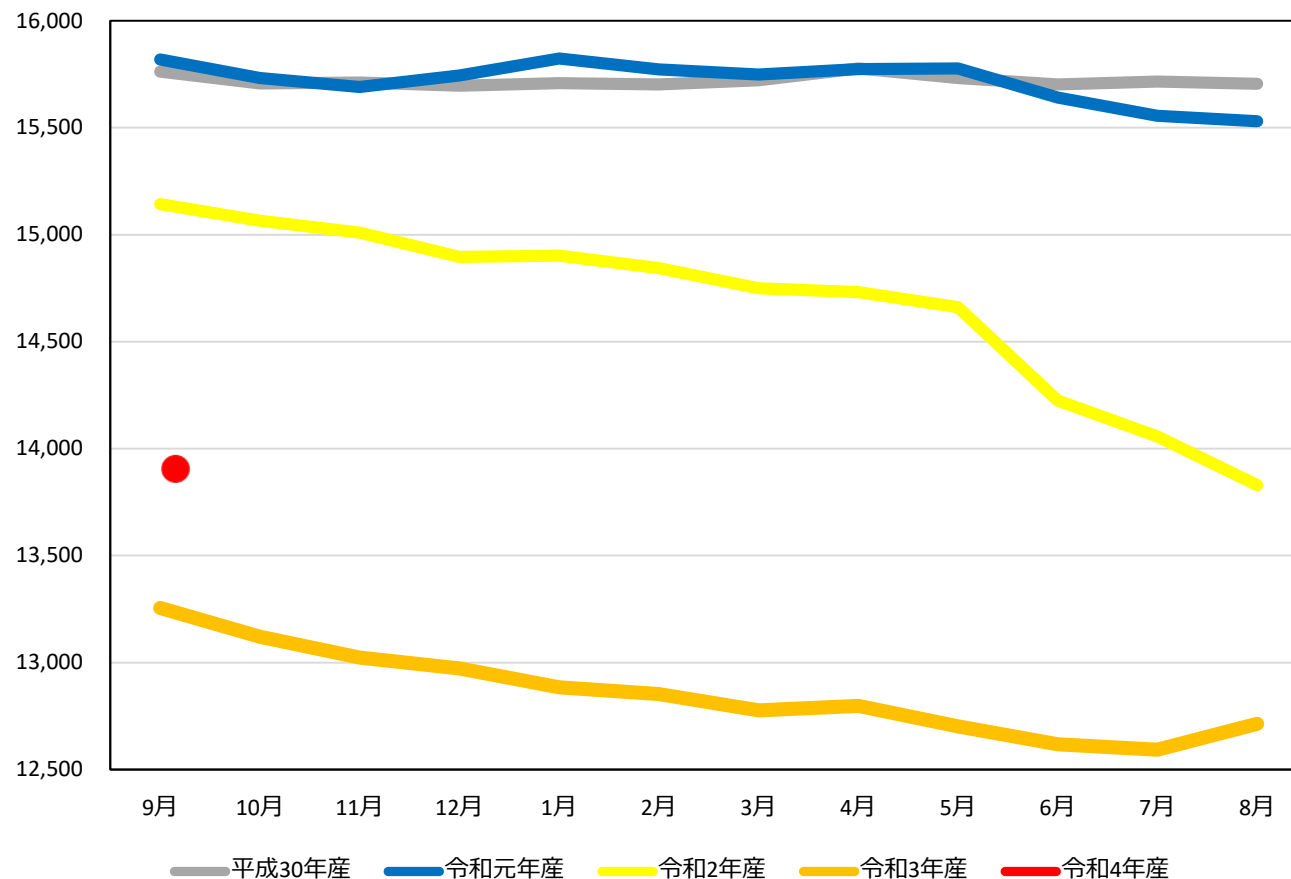
(単位:トン)





## 【食品】コメの年産別相対取引価格

(単位:円/60キロ)



| 平均価格   |        |
|--------|--------|
| 平成30年産 | 15,688 |
| 令和元年産  | 15,716 |
| 令和2年産  | 14,616 |
| 令和3年産  | 12,835 |
| 令和4年産  | 13,961 |

<データ引用>  
農林水産省「米の相対取引価格」



## 配当金

ヤマタネ

- ◆基本方針 : 中長期的な視点に立って事業収益の拡大と財務体質の強化を図り、株主の皆様への安定配当の継続  
2024年の創業100周年に向けて、株主の皆様への利益還元策を強化するため、段階的に増配していく「累進配当」を行う
- ◆連結配当性向目標 : 35%以上
- ◆年間配当金 : 2022年3月期 55円  
2023年3月期（予想） 56円

|        | 21/3期 | 22/3期<br>9月末 | 22/3期<br>3月末 | 23/3期<br>9月末 | 23/3期<br>3月末（予想） |
|--------|-------|--------------|--------------|--------------|------------------|
| 年間配当金  | 52円   | 25円          | 30円          | 25円          | 31円              |
| 連結配当性向 | 26.3% | 31.0%        |              | 31.3%        |                  |



## ご留意事項

ヤマタネ

- 本資料は、(株)ヤマタネの業績動向及び事業内容について、(株)ヤマタネによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。
- これらの将来の展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- (株)ヤマタネの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来の展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料開示時点（2022年11月28日現在）において利用可能な情報に基づいて(株)ヤマタネによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

【お問合せ】

T E L : 03 (3820) 1111 (代表)

E-mail : kikaku@yamatane.co.jp